

1. 開催日時・出席者等

- 日時：令和元年6月8日（土）14:00～16:00
- 場所：リンクウイズ株式会社（静岡県浜松市）
- Pitch テーマ：浜松におけるスタートアップエコシステムの展望
- 招へい者：別紙参照
- 出席者：平井国務大臣
高原審議官（科技）、石井企画官（科技）
寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 招へい者からの説明

- 起業家が主体となって、Hamamatsu Venture Tribe というコミュニティを立ち上げており、女性活躍プラットフォームや産業用ロボット向けソフトウェア、光パターン形成LED照明、外食プラットフォーム、脱毛期間に使えるウィッグ、軽量ナイロン製ランドセル、調理ロボット、顧客データプラットフォーム、CMOS イメージセンサ、バックオフィス業務支援など、多種多様な事業を展開するスタートアップが存在する。
- 民間や行政によって、アクセラレーションプログラムやシェアオフィス、県内企業とのマッチング、VC と連携したスタートアップ向け支援事業、マーケティングやファイナンスに係る座学の実施など、様々な支援が展開されている。
- 元来から「やрмаいか精神（色々と考えずに、まずはやってみよう）」があり、起業に前向きな気質であると同時に、豊富なものづくり技術が集積しており、IT 技術等との組み合わせにより革新的イノベーションを起こすことを目指している。

3. 質疑応答・議論

以下の意見・提言があった。

- 人材の確保が難しいため、ぜひ外国人材を活用したいが、ビザの申請・認定に時間がかかるなどの課題がある。日本に来たがっている人は多く、外国人材が働ける環境整備を行ってほしい。
- 大学において、起業したがつている学生は案外存在する。他方で、大学内で営利活動に対する制限があるとも聞く。政府として何かできることがあれば改善してほしい。
- 起業した際に、投資契約書などの資本政策を相談できる人がいなかった。スタートアップ

プにとって著しく不利になるような投資契約を結ばされるケースもあり、そういった事例等の共有のために Hamamatsu Venture Tribe を作った。最初から真っ当な資金調達を行わないと、次のラウンドでの資金調達が厳しくなる。こういった点をアドバイスしてくれる土業の育成を行う必要がある。

- 海外における事業展開時に、政府が出資して進めるケースがあるが、小さい会社でのレイヤーではまだ連携は取れていない。体系立てて、海外への展開を支援してもらえると嬉しい。
- ソーシャルビジネスを行っており、一般的なスタートアップと比べると成長率は低いのだが、皆が一定程度有しているリスクの低減を行っているのであり、間接的にはとても重要なはず。今後成長する産業という視点で支援してもらえるとありがたい。
- 小学生は平均 5kg~10kg の荷物を持って通学しており、身体的負担が大きい。学習指導要領の改訂で教科書が増えている中で、置き勉推進という方針が出ているが、実際に推進しているところはまだ少なく、負担軽減につながっていないのが現状。まずは、そういった現状があることを広く認識してもらいたい。
- 既存企業に ICT を導入しようとしても、導入する側に ICT 人材がないため進まない、という根深い問題がある。まずは、啓蒙活動や施策で対応していただけると幸い。
- 起業家精神の涵養は重要であり、中学校などで起業家教育を行ってはどうか。

(了)

招へい者：

[スタートアップ]

小川 健三 株式会社 NOKI00 代表取締役／Hamamatsu Venture Tribe 代表
吹野 豪 リンクウィズ株式会社 代表取締役
池田 貴裕 パイフォトニクス株式会社 代表取締役
渡邊 一博 株式会社こころ 代表取締役社長
佐藤 真琴 株式会社 PEER 代表取締役
和久田 麻衣 合同会社ことゆく社 代表
森 啓史 株式会社モリロボ 代表取締役
堀内 健后 トレジャーデータ株式会社 マーケティング担当ディレクター
青山 聡 株式会社ブルックマンテクノロジー 代表取締役
杉浦 直樹 We will Accounting Associates 株式会社 代表取締役

[支援者]

鈴木 康友 浜松市長
東 博暢 株式会社日本総合研究所 プリンシパル
池野 文昭 スタンフォード大学 主任研究員・医師
石田 秀行 静岡銀行 イノベーション推進室長
平井 正大 浜松いわた信用金庫 常務理事